

今月のトピックス

平成13年 ゴールデンウィークの旅客輸送等の動向(速報)

1. 鉄道

JR (平成13年4月27日～5月6日)

JR北海道が昨年の有珠山噴火の影響等の反動により前年同期比13%増となったが、そのほかは、大きな運行上の支障もなくほぼ前年並みの結果となり、グループ全体では2%増となった。

新幹線は、秋田新幹線が10%減となったほかは、概ね堅調であった。

JRグループ主要区間における特急・急行列車上下計の断面輸送量 (単位:千人)

会社名(区間数)	期間	H12.4.28	H13.4.27	前年比 (%)
		～H12.5.7	～H13.5.6	
JR北海道 (4)		299	338	113
JR東日本 (18)		3,956	3,996	101
JR東海 (10)		2,637	2,703	103
JR西日本 (12)		2,113	2,144	101
JR四国 (3)		149	152	102
JR九州 (3)		540	517	96
計 (50)		9,689	9,850	102

合算値 前年比は四捨五入の関係で合致しない場合がある。

新幹線旅客輸送人員前年比 (%)

東海道	山陽	東北	上越
103	102	102	103
長野	山形	秋田	
104	97	90	

大手民鉄 (平成13年4月28日～5月6日)

曜日配列に恵まれたものの、天候不順により日によっては出控え傾向が見られ、全体では対前年同期比で0.7%減となった。

なお、沿線で新しい施設が開業したり、イベントが開催された民鉄に伸びがみられた。

大手民鉄 定期外旅客輸送量 (単位:千人)

会社	期間	H12.4.29	H13.4.28	前年比 (%)
		～H12.5.7	～H13.5.6	
関東9社		53,556	53,465	99.8
関西5社		21,302	20,947	98.3
その他		5,041	4,912	97.4
計		79,899	79,324	99.3

関東9社は 東武 西武 京成 京王 小田急 東急 京急 営団 相鉄 関西5社は 近鉄 南海 京阪 阪急 阪神

その他は 名鉄 西鉄

合計値 前年比は端数調整 四捨五入の関係で合致しない場合がある。

2. 国内航空 (平成13年4月28日～5月6日)

国内航空については、曜日配列、連休の谷間における割引運賃の設定等により、各社共に好調であり、合計で対前年同期比98%増となった。

ジェイ・エア、スカイマークエアラインズ等は複数の増加により高い伸び率となっている。なお、ピークは下りが5月3日、上りが5月6日となった。

(単位:千人)

会 社 \ 期 間	H12.4.29 ~ H12.5.7	H13.4.28 ~ H13.5.6	前年比 (%)
日本航空	480	531	111.3
全日本空輸	961	1,044	108.7
日本エアシステム	490	551	112.4
エアーニッポン	161	161	100.0
日本トランスオーシャン	61	66	107.3
日本エアコミューター	40	40	101.0
琉球エアコミューター	6	6	104.5
ジェイ・エア	4	7	171.6
JALエクスプレス	20	26	129.2
スカイマークエアラインズ	16	26	155.7
北海道国際航空	13	17	130.5
計	2,253	2,475	109.8

合計値 前年比は端数調整 四捨五入の関係で合致しない場合がある。

3. 国際航空 (平成12年4月29日～5月7日)

国際航空については、アジア路線は堅調だったものの、比較的旅行代金の安い連休前後に出発日をずらす旅行者が増えていること等により、全体では対前年同期比24%減となった。

出国のピークは 4月28日、29日となっており、また帰国のピークは 5月5、6日であった。

(単位:千人)

会 社 \ 期 間	H12.4.29 ~ H12.5.7	H13.4.28 ~ H12.5.6	前年比 (%)
日本航空	325	319	98.2
日本アジア航空	26	28	106.4
全日本空輸	105	96	91.2
日本エアシステム	13	15	118.4
エアーニッポン	1.8	1.5	87.8
計	471	459	97.6

日本発着ベース

※計値 前年比は端数調整里 四捨五入の関係で合致しない場合がある。

4. 高速道路 (平成12年4月27日～5月6日)

全国的高速道路の出入交通量は、対前年同期比36%増となった。

主要12料金所の出入交通量でみると、15%増であったが、そのうち首都圏料金所(6箇所)は0.9%増、地方都市料金所(6箇所)は28%増であった。

なお、下り線では5月3、4日に、また上り線では5月4、5日に顕微のピークが見られた。

高速道路出入交通量 (日平均) (単位:千台)

区 分	期 間	H12.4.28 ～ H12.5.8	H13.4.27 ～ H12.5.6	前年比 (%)
全国高速道路		7,361	7,625	103.6
主要料金所12箇所		851	863	101.5

主要料金所は、東北(仙台宮城、浦和)、常磐(三郷)、東関東(習志野)

関越(新座)、東名(東京、名古屋)、中央(王子)、名神(吹田)、北陸(金沢西)

山陽(広島)、九州(太宰府)

5. 観光地 観光施設 (平成12年4月29日～5月6日)

全国各地の10箇所の観光地、観光施設の入場者数等をみると、曜日配列にも恵まれたことから、対前年同期比で増加しているところが多い。

葛西臨海水族園は、公園内に新施設が開設されたことにより対前年同期比296%増となっている。

(単位:千人)

観 光 地 観 光 施 設	期 間	H12.4.29 ～ H12.5.6	H13.4.29 ～ H13.5.6	前年比 (%)
葛西臨海水族園		102.2	132.5	129.6
袋田の滝トンネル		43.1	45.3	105.1
立山アルペンルート		79.9	81.5	102.0
明治村		30.6	31.0	101.3
兼六園		97.1	93.2	96.0
海遊館		125.6	119.7	95.3
スペースワールド		150.0	158.0	105.3
三井グリーンランド		138.2	144.8	104.8
シーガイア・オーシャンドーム		33.6	33.6	100.0
玉泉洞王国村		52.6	52.5	99.8

6. 旅行業者の取扱旅行客数

旅行業者主要4社が取り扱った旅行客数をみると、国内旅行については143%増、海外旅行については81%減となった。

国内旅行については、曜日の配列で前半の3連休と後半の4連休に分割されたため、海外旅行より有利に働き、大きな伸びとなった。海外旅行については、最近の円安傾向に加え、比較的旅行代金の安い連休前後に出発日をずらす旅行者が増えていること等により前年同期比で減少している。

	前年比 (%)
国内旅行	114.3
海外旅行	91.9

- 1 上記前年比は、ジェイティービー、近畿日本ツーリスト、日本旅行及び東急観光の国内旅行及び海外旅行の取扱人数の速報値について前年と比較したもの。
- 2 調査期間は、4月28日～5月6日。

7. 成田、関西空港利用者数 (出・入国者数)

出・入国者数は、成田空港が前年同期比で20%減、関西空港が前年同期比で04%増であった。

期 間 空 港	H13.4.27 ~ H13.5.6		前年比 (%)
	(千人)		
成田空港	出国者数	298	92.9
	入国者数	314	103.3
	計	612	98.0
関西空港	出国者数	167	101.6
	入国者数	174	99.2
	計	341	100.4

<参考> 今年と昨年の曜日配列の比較

昨年はお2連休の後5連休となったが、今年はお3連休の後4連休となった。

	4/27	28	29	30	5/1	2	3	4	5	6	
13	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
年	日		みどりの日	振替休日			憲法記念日	国民の休日	子供の日		
	4/28	29	30	5/1	2	3	4	5	6	7	
12	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
年	日		みどりの日				憲法記念日	国民の休日	子供の日		